

株式会社 エターナルロア

〒214-0034

神奈川県川崎市多摩区三田 1-12-5
三田コーポ 132

URL <https://www.eternalroar.co.jp/>

Company data

代表取締役

加藤 志郎

10代で職人の世界へ飛び込み、首都高のトンネルのタイル工事などさまざまな現場に携わる。20代での独立を目指す中で電気工事の仕事と出会い、魅力を感じたことから専門に手がけることを決意。(株)エターナルロアを設立し、20代中心の若いメンバーと躍進中だ。

Personal data



長所を伸ばす育成で若いチームを統率 一貫施工が信頼を呼ぶ電気工事のプロ

八重樫 加藤社長が電気工事業で起業された経緯をお聞かせください。

加藤 私は10代の頃から職人としてさまざまな現場に携わり、そのなかで一番おもしろそうだったのが電気工事でした。他の職種と比べて覚えることが少なく、重い物を運ぶこともないので、資格を取得しさえすれば高齢になっても働けます。自分で1から起業するなら、長く続けられるほうが良いと思ったんです。また、事務所など屋内で練習ができるため、経験の差を自分の努力で埋められる点も魅力に感じました。

八重樫 しっかり先を見据えられてのご決断だったんですね。現在はどのような依頼に対応されているのでしょうか？

加藤 インターネットや電話の配線、照明、コンセント、エアコンなど、電気に関わる工事に幅広く対応しております。

この業界は一般的に、回線・照明、テナント・戸建てなど、工種や建物ごとに特化した業者が仕事をすることが多いのですが、当社はすべてを一貫して手がけられる点が強みで、それがお客様からの信頼につながっているんです。

八重樫 窓口を一本化できるのは頼もしいですね。そのぶん、スタッフさんに求められる技量も高くなるかと思います。育成面ではどのようなことに気を付けていらっしゃいますか？

加藤 一人ひとりの個性や得手不得手を見極め、適材適所の仕事を割り振ることです。また、積極的にコミュニケーションを取りながら現場でのストレスを減らすことも意識しています。皆がのびのびと働ける環境だからか、チームには会話と笑いが絶えず、先日もある新人が「現場の行き帰りで笑ったのは初めて」と

言っていて、それだけで私の指針は間違っていないなと感じられましたね。

八重樫 素敵なエピソードです。自由な社風を築いていらっしゃると思いますが、逆に「ここだけは守ってほしい」と徹底されていることがあれば教えてください。

加藤 スジを通すことですね。朝会ったら「おはようございます」、何かしてもらったら「ありがとうございます」、ミスをしてしまったら「ごめんなさい」。そうした積み重ねが自分の将来をつくっていくので、決して怠らないように伝えています。それができていれば、いずれ当社から巣立ったとしても、どこでも活躍できるはずですから。

八重樫 最後に、会社の将来についても力強く語っていただけますか？

加藤 私は独立当初から「年商5億」という数字を掲げています。大きなゴールの前には壁や失敗があるものですが、それを恐れずに仲間とチャレンジし続けていけば、必ず達成できるという手応えがあるので、人材の採用・育成に注力しつつ事業規模を拡大したいですね。「エターナルロア」の意味は、「永遠に轟く」。お客様とも、スタッフとも、無限に付き合っていけるような関係を目指して、これからはすべての人を幸せにできるような走り続けてまいります。

Guest Comment

八重樫 東 (元ボクシング世界王者)

「自分1人では成功できない。だから仲間が存在が重要なんです」と語ってくださった加藤社長。お話の端々からも、スタッフさんに支えられてこそ社長、社長の手腕あってこそそのスタッフさんという関係性が伝わってきて、素晴らしいチームだと思いました。年商5億の目標も必ず達成されることでしょう。

